

平成30年度 第1回五島市総合教育会議議事録

- 1 日 時 平成30年7月31日(火) 午後1時30分～2時19分
- 2 場 所 五島市役所3階第2委員会室
- 3 出席者
【構成員】 野口市長、藤田教育長、坂本教育委員、林田教育委員、佐藤教育委員、杣川教育委員
【事務局】 政策企画課長、教育委員会総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、教育委員会総務課総務係長

4 傍聴者 1名

5 内 容

(1) 開会

【事務局】

みなさま、こんにちは。

本日は、お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。只今より、平成30年度第1回五島市総合教育会議を開会させていただきます。

さて、総合教育会議が開催されることとなって4年目となりました。会議の申し合わせにより年2回、開催することとしております。この総合教育会議は、市長と教育委員会の協議、調整の場として、法律により設けられておりますので、有意義な会議になればと思っております。

本日の会議は、次第に沿って進めさせていただきますが、3の事務局説明までは、事務局の方で進行をしたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(2) 市長挨拶

【野口市長】

みなさま、こんにちは。本日は、平成30年度第1回目の総合教育会議を開催しましたところ暑い中にご健勝にて出席いただきましてありがとうございます。

今年の夏は非常に猛暑ということで30度を超える毎日が続いておりますが、昨日までの段階では熱中症が19件、救急出動が出ているようでございます。幸い児童生徒は今のところ該当がないということでございます。

また、この暑い中、中総体が開催をされておりますが福江中学校の女子の柔道が優勝、あるいはバスケットは女子がベスト4、陸上でも子ども達の活躍が見られており、そういった意味では

7月までは充実した夏休みではなかったかと思います。今後も事故がないように8月も無事に経過すればと思っております。

今日の議題は、実は協議する議題がありませんで、事業報告ということで3点について報告をさせていただきたいと思っております。また、それぞれの項目について委員の皆様から積極的にご意見をいただいて、また、私の方からもお話しをさせていただく中で、意義のある総合教育会議にしたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いいたします。

(3) 事務局説明

【事務局】

事務局より、本日の会議の進め方等について説明。

それでは、ここからの進行は市長にお願いしたいと思っております。

(4) 事業報告

【野口市長】

それでは、ただいま事務局より進め方等について説明がありましたが、そのような形で進めさせていただきたいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

それでは、事務局の方で3つの事業の現状等について準備しているようですので、報告をお願いしたいと思います。

まず「離島留学の現状と課題について」説明をお願いします。

【事務局】

資料に沿って、「離島留学の現状と課題について」説明。

【野口市長】

ただいま説明がありましたが、何かご意見ご質問等ございましたらお受けしたと思っております。

【坂本委員】

五島南高校は不登校の生徒を預かっているのですが、今後不登校のような状況になった場合に県のスクールカウンセラーを呼んで対応にあたりとか、そういった対応策は考えられているのかお尋ねします。

【事務局】

今年度から、離島留学制度に係る職員を県が1名採用しております。その職員が1週間のうち

五島南高校及び奈留高校に各2日、五島高校に1日勤務することになっておりますので、その職員が何らかの対応をされると思います。

【市長】

学校現場とホームステイ先の調整をされる方が配置されているということですね。

他に何かございませんでしょうか。

高校の離島留学も合わせて15人、小中が久賀と奈留についても合わせて15人ですが、その状況も説明をお願いします。

【事務局】

しま留学は久賀小中学校に10名、奈留小中学校に5名でスタートしましたが、1名がどうしてもうまくなじめないということで一旦解除しましたので、現在14名がそれぞれしま留学生として通っております。

【市長】

しま留学の久賀の状況については、坂本委員どうでしょうか。

【坂本委員】

久賀は10名全員元気に通っております。ただ、一軒の家に2名ずつお世話になっていますが、生まれ育った環境、それから家庭環境が違うということで、留学生同士の価値観の違いなどでトラブルがあったりしているようです。学校にはきちんと対応していただいておりますが、どうしても生活環境の違いから生活し始めた4月頃にそういったことが出てくるなと感じております。その後は元気に登校しており、部活動でも卓球の大会に出場するなど頑張っているようです。

【杣川委員】

南高の現状ですが、先日我々の近所の神社の草刈り奉仕作業があったのですが、留学生の男子生徒が全員来てくれて、結構働いていただきました。誰に聞いて来たのかと尋ねたら、里親さんから話を聞いて率先して参加したようです。意外と働くなというのが私の印象でした。終わった後の慰労会にも参加して焼肉をたくさん食べて帰っていただきました。

もう一人の女子生徒ですが、我々の近くの公園の草刈り等に里親と一緒に参加していただきました。また、彼女と話す機会があり、生活は楽しいですかと尋ねたら、すごく楽しく、皆やさしくて良いという返事が返ってきましたので、概ねうまくいっているのではないかと思います。

【市長】

地域でそういった形で育てていただければと思います。

【坂本委員】

しま留学生の親から言われたことで、島民割引を適用させていただいて非常に助かっていると、子どもの行事等にも参加しやすいという声をいただいております。

【市長】

我々離島に住む住民は運賃の割引があるのですが、こういった離島留学とかしま留学で子どもさんを離島に預けている方の保護者についても準住民という形で五島市民と同じような交通運賃の割引が出来るようになっております。

あとはやはり、ホームステイの確保です。奈留は今度、離島留学用で20名受入可能ということですが、元々奈留のしま留学は10名の子どもさんが希望していたのですが、結局、しま親の確保ができずに5名しか受け入れられなかったという状況があります。そういった意味では、今度20部屋の受入先を建設する相談もあっておりますが、このあたりは生活指導する人をどう配置するかということの場合によってはここに中学生くらいは入れてもよさそうな感じはしますが、非常にありがたい話を奈留からはいただいております。何とかこれを実現したいと思っております。我々としては、ホームステイ先をしっかりと確保していくことを、それぞれ南高、あるいは奈留高と一緒にやって取り組んでまいりたいと思います。

次に「五島市奨学金（給付型・貸与型）の現状について」説明をお願いします。

【事務局】

資料に沿って「五島市奨学金（給付型・貸与型）の現状について説明

【市長】

ただ今説明がありました、何かお聞きしたいことはございませんか。

【林田委員】

来週、五島市で保育士確保のための見学ツアーを開催するのですが、20名募集したところ17名の学生が参加くださるようになりました。17名の学生さんは長崎女子短大と長崎女子大、こころ医療専門学校ですが、特に専門学校の学生は、福祉の方の保育士就学資金貸付制度というのがあり、それを利用している学生が多くいます。この制度は保育士の資格を取って卒業し、5年間保育士として就職した場合には償還が免除になるというものです。それが離島のようなへき地に就職した場合は3年で対象になるということです。そういった専門学校の学生さんが離島に就職して3年で返済したいという学生がいるということをお聞きして、今回、「ばらかもん奨学助成金」ですが、この福祉の方の貸付制度を受けて五島に来ていただいて3年で免除になり、また、この貸付制度とは別に奨学金を受けていた場合に、この「ばらかもん奨学助成金」を受けられるのかということをお尋ねします。

【事務局】

その県の社会福祉の貸付金と日本学生支援機構を2つ借りた場合ということだと思いますが、どちらとも対象となります。

【林田委員】

「ばらかもん奨学助成金」というのは、非常に魅力のある助成金だと思いますので来週見学に

来られた学生さんには、地域協働課の職員が来られて移住についての説明もして下さるようになっておりますので、是非五島に来ていただくようにPRをさせていただきたいと思っております。

【市長】

そういった思いもありまして、この「ばらかもん奨学助成金」は作らせていただいたのですが、28年度はUIターンが26人、29年度は129人、今年は4月から7月までの4ヶ月間で80人ということで、かなりの方にお見えいただいており、社会減を抑制するのに重要な手段となっておりますので、これについてはしっかり取り組んでいきたいと思っております。

市の貸与型奨学金ですが、県は毎年の貸与事業をやめることを検討しているということですか。

【事務局】

今年2月の理事会で、来年度から毎月の貸与を中止することを決定しておりますが、入学一時金は現行どおり貸与するようです。予約制ということで理事会前に平成30年度貸与を決定していたため、来年度からの中止となります。

【市長】

市の貸与型奨学金については、見直し等は検討していませんか。

【事務局】

市の奨学金も年々減ってきておりまして、いずれ検討しなければならない時期が来ると思っておりますが、今年度は5月にPRをして、かなりの問い合わせがっておりますので来年度の様子を見たいと思っております。

【市長】

県がやめたのを見てどう動くかですね。

給付型については、該当する子どもさんが一人いたそうですが、所得基準で貸与にならなかったということでございます。これは制度をつくる時に成績要件なり所得要件なりを緩和して何人かでも受けられる制度にしてはどうかという話もあったのですが、もう少し様子を見ながら、なかなか出てこないということであればまた検討していきたいと思っております。

他にございませんでしょうか。

それでは、最後になりますが、「全国学力・学習状況調査結果について」説明をお願いします。

【事務局】

資料に沿って「全国学力・学習状況調査結果について」説明

【市長】

ただいまの説明について、ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

【坂本委員】

やはり大規模校の質を上げないことには、五島市全体の順位は上がっていかない。そういう意味では、職員の強化を図ったところ効果があったという話も聞きまして、やはり指導者の影響は大きいなと感じた次第です。

【佐藤委員】

以前、大村で研修があった時に聞いた話ですが、家庭の事情で塾に通えない子ども達を退職教員やOBの方たちが中総体後の中学3年生を対象に塾を実施しているところがあるそうです。今は奨学金なども充実していますし、進学を希望する子ども達にはすばらしい取組と思ったのですが、五島市でもこういった取組はあるのかお尋ねします。

【事務局】

退職校長会という組織がありまして、率先して学習指導に関わってくださるという申し入れをいただいております。学校によっては放課後指導をいただいているところもあります。ただし、全体でそこに力を入れてという雰囲気ではまだないというのが現状です。

【市長】

確かに本土と比べると塾がないからですね。学校で勉強するのが全てという子供さんもいらっしゃるでしょうけど、先ほど坂本先生が言われた大規模の小中学校をしっかりと底上げをしないとなかなか点数は上がらないと思いますのでよろしくお願いします。

それから、先ほど小学校から中学校への経年状況という話がありましたが、今の中3の子ども達は3年前の小6でデータがあると思いますので、その時のレベルが3年間で落ちているのかそれとも上がっているのかというのが分かると思うのでそういったところをしっかりと分析してほしいと思います。

【事務局】

それと併せて学習状況調査というのもアンケート方式ですと行ってありますので、例えば早寝早起きと学習との関係とか、項目によっての差異をどうやって見ていくかというのもピックアップしながら分析をしようと協議をしているところです。

【教育長】

先ほど大規模校の学力の話がありましたが、全般的に学力が二極化している。二極化しているのに、いまだに授業は真ん中の子ども達を中心にした授業になっている。これでは変わらないだろうと、ことあるごとに低学力、学力がまだ厳しいところに視点をあてて底上げをしていくことが大きな改善につながるということを、これも教職員の研修の中でポイントを押さえながら指導してまいりたいと思っております。

【市長】

一人の先生で一つの授業の中で、それをやっていくということですか。

【教育長】

プリントの用意の仕方や、教材の準備の仕方によって変えていくとか、あるいは学級内における習熟度別の指導法もいろいろな研究の中で改善されてきています。ところが、あくまでも研究発表会の中だけの取組で終わってしまって、実際の通常の授業の中に生かされていない。だからできるだけ生かしていくよう進めていかななくてはならないと考えています。

【市長】

極端に言うと、机を並べて座っていて隣の子とプリントが違うということもあるのですか。

【教育長】

習熟度別にグループ分けをして行います。

【市長】

それでは、そういったいろんな分析が終わった後にある程度煮詰まりましたら教育委員会内でしっかり報告していただきたいと思います。私の方にも個別に報告していただければと思います。これまで3点につきまして、委員のみなさまから何かございませんか。

(5) その他

それでは次にその他となっています。教育委員の皆様から、この場で協議したいことなどございましたら挙げていただければと思います。

ないようでしたら事務局の方からお願いします。

【事務局】

生涯学習課の方から、7月1日にオープンいたしました山本二三美術館について、現状報告をさせていただきます。

1日にオープニングセレモニーを行った後に開館いたしました。1日の入場者数が351名で、二三美術館の建物からすると、目一杯の方が溢れんばかりに来ていただいたというような状況でありました。昨日現在では、1552名の来場者となっております。今後に関しては、7月、8月については、月曜日が本来なら休館日ですが、この2ヶ月間は月曜日も対応しているという状況です。

それから、山本二三さん本人がオープンの時には来ていただきましたので、今後ご本人が来られるような事業を組みながら交流人口、外からのお客様に対応する事業も考えて行くと事業主体であるマウンテンブックさんもおっしゃっており、秋口にナイトミュージアムというものを行うということでした。この松園邸には庭がありますので150年前の建物で庭もちゃんと手入れされていますので、これをライトアップして見せたい、そうすることで二三美術館の襖絵を外から見るといこともできますので、そういうことも生かしながら来館するお客様にPRしていき

いという話をいただきましたので、是非そういうことを取り組んでいただければと思っております。状況としては、お客様の入りとしてはまああの入りかなと思っております。ただ、今後については、いろんな取組が必要かと思っております。以上です。

【市長】

山本先生は、全国からアニメとか絵の世界を目指す子ども達に来てもらって一週間とか十日くらいの合宿をやってもいいという話をされていまして、観光物産課の方でこの山本二三美術館を全国のアニメツーリズムの聖地にしてもらうということもありました。そういった位置づけができるとまた全国からアニメファンの方がお見えになるのではないかと思っております。せっかく整備した美術館ですので多くの人に利用していただけるように取り組んでまいりたいと思います。

その他事務局から何かございませんか。

【事務局】

ありません。

(6) 次回開催について

【野口市長】

それでは、次回開催についてですが、ある程度時期を決めたいと思いますが事務局から何かありますか。

【事務局】

例年、11月頃に開催しておりますので、今年度も11月頃に開催したいと思いますが、いかがでしょうか。

【野口市長】

次回開催は11月頃を目安にしたいと思いますがよろしいでしょうか。これは翌年の予算編成も踏まえて、それに反映できるようにということもあり2回目については11月ということでございます。詳細につきましては事務局と調整しまして決定後にお知らせしたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

また、皆様から協議、意見交換をしたい内容がございましたら、調整をして臨時的な会議として開催いたしますので事務局まで伝えていただければと思います。

(7) 閉会

【野口市長】

それでは、以上をもちまして、今年度、第1回目の五島市総合教育会議を終了したいと思います。ありがとうございました。